



## 軽トラ市で賑わいを創出

(11月20日)

いわなみキッチンで2回目となるわくわくFCRUM（ふくらむ）軽トラマーケットが開催されました。当日は新鮮な野菜や加工品、飲食などのブースに前回の3倍となる300人ほどが訪れ、賑わいを見せていました。また、燃料電池車が会場で使用する電源を供給する取り組みも行われ、注目を集めていました。

## 中央公園で『親子で楽しむカメラ教室』

(11月23日)

親子で楽しむカメラ教室が中央公園で開催され、10組24人の親子が参加しました。『すその文化財フォトコンテスト2021』の関連イベントとして企画されたものです。キヤノン(株)富士裾野リサーチパークの協力でカメラの使い方を学んだ後、五竜の滝や旧植松家住宅などの撮影に挑戦していました。

特派員：小林 建次



## 都市計画道路桃園平松線が開通

(11月24日)

市が進めている裾野駅西土地区画整理事業で、区域内で整備を進めていた桃園平松線が完成し、利用できるようになりました。市街地に県道沼津小山線と市道平松新道線を結ぶ道路がまた一つ開通したことで、中心市街地の活性化と利便性の向上が期待されます。

## 花を愛する華道家の作品が一堂に

(11月27・28日)

市民文化センターで二市一町いけばな展が開催されました。会場には裾野市、御殿場市、小山町に所属する華道家80人が心を込めて生けた作品が並びました。色鮮やかで創造性豊かな作品の数々は、訪れた人たちの目を楽しませていました。





**放置竹林の幼竹をメンマに活用！** (11月27日)

『美味しく食べて竹林整備』を合言葉に、第3回純国産メンマサミットが生涯学習センターで開催されました。純国産メンマの製造法を確立した日高栄治氏の基調講演に続き、国産メンマの製造で竹林整備に取り組む4団体が事例発表を行いました。最後に参加した8件の企業団体による全国組織『純国産メンマプロジェクト』の設立を決めました。

**オリンピックの感動を振り返る**

(11月27日・28日)

市民文化センターで東京オリンピック・パラリンピックのレガシーイベントが開催されました。市内でも開催された聖火リレーや自転車競技ロードレース(男子)の様子、開催までの記録がパネルや映像で紹介されました。会場では、聖火リレーで使用されたトーチを手に、記念写真を撮る姿も見られました。



**山岳コースをマウンテンバイクが疾走**

(11月27日・28日)

『SUSONO MTB CHALLENGE 2021』が、市制50周年を記念し市内で初めて開催されました。県内や首都圏を中心にマウンテンバイクやE-バイクの愛好家146人が参加し、久根・公文名の山岳コースに挑みました。チャレンジ部門では、深良在住の大庭康嗣さんが1周6.3kmのコースを27分42秒のタイムで駆け抜け、初優勝を飾りました。

**下和田区でモデル地区防災訓練実施**

(11月28日)

下和田区をモデル地区に防災訓練が実施され、区民など約60人が参加しました。全体研修では、仮設トイレや居住区画の設置などの避難所の開設を体験しました。屋外では、長期の避難所生活を想定し、燃料自動車(FCEV)を活用した電力供給の実演や自衛隊装備品の展示、キッチンカーを利用した調理デモが行われました。

